

2019年11月15日

各 位

会 社 名 ヤーマン株式会社
 (コード番号：6630 東証第一部)
 代 表 者 名 代表取締役社長 山崎 貴三代
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 宮崎 昌也
 T E L 03-5665-7330
 U R L <https://corporate.ya-man.com/>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年11月15日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等をふまえ、6月13日の2019年4月期決算発表時に開示した2020年4月期(2019年5月1日～2020年4月30日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年4月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年5月1日～2019年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,157	2,893	2,886	1,826	32.64
今回修正予想(B)	11,442	1,700	1,613	939	16.80
増減額(B-A)	△2,715	△1,192	△1,272	△886	
増減率(%)	△19.2	△41.2	△44.1	△48.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年4月期第2四半期)	15,241	4,233	4,266	2,626	46.16

2. 2020年4月期通期連結業績予想数値の修正(2019年5月1日～2020年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,595	5,840	5,827	3,686	65.90
今回修正予想(B)	23,206	3,007	2,914	1,760	31.47
増減額(B-A)	△4,389	△2,832	△2,912	△1,926	
増減率(%)	△15.9	△48.5	△50.0	△52.3	
(ご参考)前期実績 (2019年4月期)	27,252	5,705	5,715	3,539	62.65

3. 修正の理由

2020年4月期第2四半期（累計）及び通期連結業績は、前々期から前期にかけて業績を大きく押し上げる要因となったインバウンド需要の後退や、香港・韓国における政情不安定などの影響から、中国国内を除く海外顧客向けの売上が大きく落ち込む結果となり、売上高・利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。

当期においては、新製品の研究開発やブランドを軸とした広告宣伝、社内体制の整備など、将来に向けての積極的な投資に経営資源を投下しつつ、国内顧客向けの販売の強化に取り組んでまいりましたが、海外顧客向けの売上の低迷を補うには至りませんでした。

4. 今後の取り組みについて

11月11日独身の日中国 T-mall では、美容電子機器部門（※）において販売実績・売上シェアともに4年連続1位を獲得するなど、中国国内向けの売上は好調に推移しております。

これを梃子として、海外のニーズに沿った製品の投入や新規進出国の開拓などを通じ、海外顧客向けの販売の回復を図ってまいります。

また、今後の売上に繋げるための投資については、引き続き積極的に行ってまいります。

下半期には、ご好評をいただいております「メディリフト」シリーズの販売を強化し、ウェアラブル美容機器市場を確立させるため、TVCMを中心とした広告宣伝に集中的に投資を行う計画であるほか、直営店、ショッピングインショップ他での顧客サービスを充実させ、お客様満足度の向上を図ってまいります。

（※）美容電子機器部門には、美顔器、美容ローラー、ボディケア美容器、脱毛器、スチーマー等が含まれます。

以上

【ご参考】

